

第4回郡山市介護保険運営協議会にいただいた御意見等

| No. | 委員 | 御意見等 | 事務局の考え方 |
|-----|------|--|---|
| 1 | 千葉委員 | <p><u>P.15 第2章 4各種アンケート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活機能評価 <p>介護予防の視点で失禁リスクの項目として入っており失禁が外出を控えるなどうつ・閉じこもりにも影響すると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康状態 <p>本人の思う健康状態と生活習慣病の有無は必ずしも一致しないものと思われる。76%の健康としている人の生活習慣病の関係性についても分析いただけると良いと感じた。介護予防の考え方では老年症候群の視点となる。生活機能評価とリンクさせるものとする。</p> | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回会議の資料2-1 アンケート調査結果概要では、「外出を控えている」と回答した方(31.4%)の理由のうち、高齢者全体の4位、80歳以上の3位にトイレの心配(失禁など)となっていることから、うつ・閉じこもりにも影響があると考えられます。介護パンツの適正な利用など、外出につながる介護用品のPRに努めます。 アンケート結果について、さらなる分析結果を得ることができるよう、クロス集計の項目を増やすなど、検討してまいります。 |
| 2 | 千葉委員 | <p><u>P.62 第5章 1 (3)地域リハビリテーション活動の支援</u></p> <p>計画について、事業の引き算も大切ですが掛け算があっているのではないかと。プランAとプランBをコラボすることで相乗効果をねらうということもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいき百歳体操の各公民館での実施日を同じ日にしてオンラインで一緒に活動しコミュニケーションを取りながら実施するなど、オンラインでの共有できるプランなどもICT活用で地域格差の問題が解消できるところもあると考える。 健康推進の視点から、年齢を問わないスポーツレクリエーションを実施するのはどうか。 | <p>【地域包括ケア推進課・健康長寿課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民が主体の「いきいき百歳体操」の立ち上げに、第2層協議体の生活支援コーディネーターが新たに支援を行うことなど、事業の枠を超えた連携を図ることにより、計画推進の加速化、効率化に努めます。ICTの活用は、全ての事業の効率化に必要と考えるため、検討を進めてまいります。(地域包括ケア推進課) P.38 第2章2(4)高齢者作品展・スポーツ大会等の開催にスポーツレクリエーションを追記するよう検討しております。(健康長寿課) |
| 3 | 千葉委員 | <p><u>P.63 第5章 1 (4)介護予防に資する通いの場の普及・啓発</u></p> <p>それぞれの専門職の中に、介護予防運動指導員も入れていただき、資格取得者の登録などができるとう有効性が上がるのではと考える。</p> | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <p>P.63 保健師や歯科衛生士、栄養士等の専門職に加え、介護予防運動指導員などの専門的知識を有する方として文章追加しました。</p> |

| No. | 委員 | 御意見等 | 事務局の考え方 |
|-----|------|---|--|
| 4 | 千葉委員 | <p><u>P.106 第8章 5 (3)業務の効率化及び質の向上</u></p> <p>DX 推進の観点での内容として、施設におけるスムーズな取り入れについて「スマート介護士」という資格がある。学習することでスムーズな取り組みに繋がると考える。</p> | <p>【介護保険課】</p> <p>「スマート介護士」は 2019 年にできた新しい資格であり、資格取得内容に、介護ロボットや ICT の活用といった素案の P.105 に記載している福島県の取り組み、P.106 (3)業務効率化及び質の向上に共通する内容が含まれていることから、視点を取り入れて、国、県と連携して取り組んでまいります。</p> <p>介護福祉職としての目標・やりがいについてですが、素案の P.105 に記載した「介護人材確保・定着に関するアンケート調査結果」においても、人材不足、退職の理由として、業務内容がきつ、精神的・体力負担により、介護職としての目標・やりがいを保てないことがあげられており、第九次計画に記載した介護人材セミナー、介護ロボット、ICT活用といった様々な分野からの支援を進めてまいります。</p> |
| 5 | 山口委員 | <p><u>タイトルについて</u></p> <p>他の計画のように独自性のあるタイトルにしてはどうか。</p> | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <p>他の多くの自治体の計画同様、第六次計画より「地域包括ケア計画」と呼称しており、今後も継続していく方向で検討しております。</p> |
| 6 | 山口委員 | <p><u>P.30 第3章 地域包括ケアシステムのイメージ図について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業について認知度がまだ低いため「薬剤師の訪問(居宅療養管理指導)」を追加したらどうか。 ・認知症支援として実施している「認知症対応薬局」を追加してはどうか。 | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.30 イメージ図の「介護」の「在宅サービス」へ「居宅療養管理指導」の文言を追加しました。 ・P.30 イメージ図の「認知症支援」へ「認知症対応薬局」の文言を追加しました。 |
| 7 | 山口委員 | <p><u>P.32 第1章 健康づくりの推進</u></p> <p>「薬の正しい使い方」について薬剤師会での講座の開催が実施されている。中項目に加えてはどうか。</p> | <p>【保健所総務課】</p> <p>P.32 (2) 健康づくりの情報提供 にくすりについての出前講座の実施について文章を追加しました。</p> |
| 8 | 山口委員 | <p><u>P.32 第1章 1 健康寿命延伸に向けた取組</u></p> <p>ポリファーマシー、残薬対策について第1章に加えてはどうか。</p> | <p>【保健所総務課】</p> <p>P.32 (2) 健康づくりの情報提供の【取り組み】の表に項目を追加し、取り組み内容について記載しました。</p> |

| No. | 委員 | 御意見等 | 事務局の考え方 |
|-----|------|---|--|
| 9 | 山口委員 | <p><u>P.32 第1章 1 (3) 受動喫煙防止対策の強化・禁煙支援</u></p> <p>郡山市と郡山薬剤師会で「禁煙支援薬局事業」を実施しているため、具体的な項目として追加してはどうか。</p> | <p>【保健所健康づくり課】</p> <p>P.32 (3) 受動喫煙防止対策の強化・禁煙支援 に取り組みについて文章を追加しました。</p> |
| 10 | 山口委員 | <p><u>P.41 第3章 1 安全・安心な環境づくりの推進</u></p> <p>こども110番事業の高齢者版について、「地域での見守り体制の強化」というところで「金融機関やコンビニ、駐在所とのつながりを強化」とあるので、そこでコンビニよりも多いとされる薬局がその中で何か協力できるのではないかと思う。「こども110番」があるので、それに似た形で「高齢者の相談所」みたいなものができるのではないか。</p> | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <p>P.44 (6)オ 地域での見守り活動 に市内の団体や事業者などが連携して、業務の中で地域の見守りにつながる活動を行う「郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業」について、文章を追加しました。</p> |
| 11 | 山口委員 | <p><u>P.70 第6章 3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援</u></p> <p>認知症対応薬局について記載してはどうか。</p> | <p>【地域包括ケア推進課】</p> <p>認知症対応薬局事業は福島県と福島県薬剤師会における実施事業であることから、P.67 第6章の前段部分に県の認知症関連事業との連携を図りながら施策に取り組む旨の文章を追加しました。</p> |
| 12 | 山口委員 | <p><u>P.87 第8章 2 (2) (コ) 居宅療養管理指導</u></p> <p>医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士と別々に表記をすることができないか。薬剤師が在宅に訪問することによって薬剤削減（医療費削減）に寄与できることは間違いない。その指標も必要かと思う。</p> | <p>【介護保険課】</p> <p>介護保険法において、介護保険事業計画については介護給付等対象サービスの種類ごとの見込量を定めることとされていることから、各介護保険サービスの事業目標については、サービス種別ごとの記載とさせていただきたいと思います。</p> <p>また、今後は、いただいたご意見にかかる視点について、各実施機関の実績を含め、各委員さんのご意見をいただき、検討してまいります。</p> |